



グリーンパークに咲く桜の花

可決した令和3年度補正予算の内容（抜粋）

子どもへのワクチン接種

希望する5歳から11歳の子
どもへのコロナワクチン接
種体制を整備し接種を実施



臨時特別給付金

コロナの影響を受けた住民
税非課税世帯や家計急変世
帯を支援するため、1世帯
あたり10万円を給付

らくらく窓口証明書交付サービス

マイナンバーカードを使って申請書
を書かずに住民票などを取得できる
端末を市役所に導入



ロシアによるウクライナ侵略と核兵器
での威嚇を非難する決議案を全会一致で
可決しました。（下記参照）

※1
— 決議案を全会一致で可決 —

令和4年度各会計予算をはじめ、令和
3年度一般会計補正予算・条例の改正な
どを審議したほか、20人の議員が一般質
問を行いました。

令和4年第2回定例会を3月1日から
3月24日までの24日間の会期で開催しま
した。

3月
定例会の概要

令和4年第1回臨時会を1月11日に開
催し、コロナ対策関連の令和3年度一般
会計補正予算（第16号）などについて審
議しました。

1月
臨時会の概要

新年度予算やコロナ対策関連予算を審議・可決（1月臨時会・3月定例会）

令和4年度予算注目事業

サイクルツーリズムの推進

トカプチ400のナショナルサイクル
ルート指定を観光客誘致につなげる
ため、管内自治体などと
連携し、サイクリストの
受入体制を整備



開拓140年・市制施行90年記念事業

NHK公開番組や、百年記念館の特別
企画展など、市の歴史や魅力を共有
し、次代の子ども達の夢をはぐくむ
記念事業を多数実施

土足で入場可能 な投票所の拡充

利便性向上などの
ため、土足で
入場できる投票
所を大幅に拡充



HPVワクチンの無料接種

子宮頸がんを予防するHPVワクチ
ンの接種機会を逃した17歳から25
歳の女性に対しても無料接種を実施

コミュニティ・スクールの拡充

保護者や地域住民が学校運営に参加
する「コミュニティ・スクール」実
施校を29校から全小中学校に拡大

— 国会などへ意見書を提出 —

コロナ禍での消費拡大対策の強化に関
する意見書を全会一致で可決し、関係
行政省庁へ提出しました。（6ページ参照）

— 陳情1件を厚生委員会に付託 —

陳情第1号「選択的夫婦別姓制度の法
制化に向けた議論を求める意見書提出に
ついて」は厚生委員会に付託し、今後審
査を行うことに決定しました。

ロシアによるウクライナ侵略と核兵器での威嚇を非難する決議

全会一致で
可決

ロシアのウクライナ侵略を受け、決議案第1号「ロシアによるウクライナ侵略と核兵器
での威嚇を非難する決議」が提出され、3月8日に全会一致で可決しました。

要旨

- ・ロシアのウクライナへの軍事侵攻に厳しく抗議するとともに、
即時攻撃停止と部隊の撤収を強く求める。
- ・政府に対し、ウクライナにいる日本人の安全確保や、外交努
力によるウクライナの平和回復、ロシアの核兵器での威嚇へ
の強い非難を求める。



決議の全文はこちら↑

● 目 次 ●

臨時会・定例会の概要	1
一般質問	2～3
令和4年度予算に対する議論の概要 本会議での討論など	4～5
常任委員会等の動き など	6

新中間処理施設について
市民生活に関わる除雪の体制について

小森 唯永 議員
(開政)



質 新中間処理施設の建設費の約半額は帯広市民の負担でもあるが、少しでも建設費を安くするつもりはないのか。

答 19市町村の長および各市町村議会からの選出議員により構成された組合議会の議決を経て意思決定がなされている。

質 1月11日の記録的な大雪の際の除雪では、過去に類を見ない800件もの市民からの苦情があったにもかかわらず、その後、新聞報道がされるまで除雪を行わなかったが対応に問題はなかったのか。

答 記録的な大雪であり、作業に時間を要したが、新雪除雪から2次除雪まで、継続して作業を行ってきたおり、可能な限り適切に対応してきた。

上野 庸介 議員
(自民)



行政サービスの低下を招かない人事異動を

質 市職員と関わる市民や企業から「仕事を覚えた頃には異動でどこかに行ってしまう」「担当がころころ変わる」という声が数多くある。市職員の異動はどのような基準で行われているのか。

答 職員の在籍年数やジョブローテーション、職場における業務課題の状況などを総合的に勘案して実施している。

提言 ジョブローテーション中の職員は、まだその分野に適性があるのかないのかわからない状態。そうした状態の職員に高い専門性が必要となる事務処理や民間への対応を任せつきりにするのはなく、部署内でのバックアップ体制も整えるべき。

空き家対策
犯罪被害者支援

林 佳奈子 議員
(自民)



質 どのような問題意識を持って空き家対策に取り組んで来たのか伺う。

答 老朽化が著しい空き家は、倒壊の危険性や衛生上の悪化がすすみ、地域住民に大きな影響を及ぼす。空家等対策計画を策定し、情報発信や相談窓口の開設、改修・解体への支援などをすすめてきた。

提言 空き家所有者とその家を使いたい希望者を結びつけるマッチングなど民間との包括連携協定を視野に入れ検討を。

質 犯罪被害者への支援制度を明確化するための特化条例制定や犯罪被害者等支援要綱改正の考えは。

答 条例や要綱の趣旨などを踏まえ、道や他自治体の状況も調査していきたい。

小椋 則幸 議員
(自民)



DX戦略推進について
動物園の魅力化について

質 デジタル人材の確保策として、デジタル人材の採用枠を設ける考えを伺う。

答 採用後のジョブローテーションや専門性を生かせる職場への配置など、中・長期的な人事管理と併せて考える必要がある。

質 昭和38年の開園当初から動物園が担っている役割の変遷や現在の動物園の基本的な認識を伺う。

答 開園から50年以上経過し、社会環境が大きく変化する中、施設老朽化への対応やより教育的な活動に重点を置いた取り組みの他、快適に過ごせる飼育環境整備などを通じた動物福祉への配慮など時代にふさわしい施設運営が求められている。

開拓140年市制90年の節目に思う！
文化的価値の熟成にむけて！

西本 嘉伸 議員
(市政)



質 今後の市史編さんの予定は。

答 今回の記念事業では発刊の予定はない。直近の発刊から約20年が経過、今後の発刊は現段階では決まっていないが準備に相当の時間が必要となり、スケジュールを検討していく必要がある。

質 文化財に関する業務が百年記念館に移管されたが、その意図するところは。

答 従来別々に所管していた文化財に関する業務を埋蔵文化財と共に百年記念館に一元化することで効率的・効果的に文化財行政を把握する体制を整えた。

提言 効率的・効果的な体制は必要だが、文化的価値の創造・熟成には文化行政全体をマネジメントする視点も必要。

稲葉 典昭 議員
(共産)



コロナ 1000名を超えた自宅療養者に
市がサポートセンター設置で支援を

質 ロシアの国連憲章、国際法違反のウクライナ侵略に抗議文を送った思いは。

答 侵略行為の即時中止、一日も早い平和的解決を求めて抗議文を送付した。

質 感染急拡大で2月末には療養施設以外に1000名以上も療養。自宅療養者の支援や、往診体制の強化などを展望したサポートセンター設置の考えは。

答 個々の状況に応じた丁寧な対応が必要。不安解消に向けた取組みを継続する。

質 自宅療養者の不安解消のため、ヘルスウォッチで医療機関とつなぐ考えは。

答 調査研究していきたい。

提言 独居高齢者の見守り手段としても有効と考えられるため活用を検討を。

コロナ第6波を押さえ込む対策について

鬼塚 英喜 議員
(自民)



質 今年1月から今日まで、感染拡大防止や自宅療養対応を含め、北海道と連携してどのように感染対策を行ったのか。

答 市では保健所や医師会、医療機関と連携し、感染に関する丁寧な情報提供や機会を捉えた周知啓発などに努めたほか、3回目ワクチン接種の前倒しや保健所に市職員を派遣しての自宅療養者の支援にもあたってきた。

質 市内に居住する警察・消防・自衛隊の職員などの優先接種に関して北海道や国に要望してはどうか。

答 現時点での薬事承認の接種期間を超える対応はできないが、全国知事会や国の今後の考え方など状況を注視したい。

佐々木直美 議員
(立憲)



U18^{アンダー}の子どもたちについて

質 令和2年人口動態統計の概況によると出生数は明治32年以降最少の約85万人。また、社会事情の影響を受け、1人の子どもが貧困、虐待、いじめ、発達障害など、複合的な悩みを抱える状況があり、子どもたちの立ち直りを支える学校、家庭以外の居場所（サードプレイス）の必要性が高まっている。認識と対応は。

答 近年、家庭の抱える困難が複雑、深刻化し、居場所がなく孤立する子どもがいる。第三の居場所の存在は、子どもたちにとって有益である。

提言 保護者への相談支援の充実、子どもの精神的回復を支える居場所づくりにより、子どもが明るく育つまちづくりを。

「支える人を支える」ための仕組みづくり
ヤングケアラーも含む全方位支援を！

菊地 ルツ 議員
(立憲)



質 ヤングケアラーへの支援が急務と言われ始めた理由は、学業や進学、就職、恋愛、将来の夢、体験の喪失や孤独・孤立からの脱出の必要性。市の考えは。

答 関係機関などと連携して対応を続けていくほか、国などの動向を注視しながら市内のヤングケアラーに関する情報の収集を図り、必要な支援につなげることができるよう取り組んでいきたい。

質 ケアラー支援は全市全市で対策しなければならず、支える人を支えるためのケアラー支援を市民福祉部のみで完結するのは不可能と考えるがいかがか。

答 各関係課が全庁横断的に連携し、市民に寄り添った対応となるよう努めたい。

藤澤 昌隆 議員
(公明)



みどりの食料システム戦略について
アピアランス(外見)ケアの充実を

質 みどりの食料システム戦略では低農薬・低化学肥料をめざしているが、どのような取り組みが考えられるのか。

答 化学農薬以外の技術を導入し組み合わせることで農薬の使用を最適化できる。また、有機物を活用した土づくりで化学肥料の使用を抑えられると認識。

質 本市の有機農業の展望は。

答 まずは減肥、減農薬をすすめる、地域に合った技術や機械を導入することでも有機農業の拡大につながると考える。

質 外見ケアは生きがいを生み、前向きになる。医療用ウィッグ助成の考えは。

答 外見ケアの現状について把握し、必要な取り組みについて考えていく。



木幡 裕之 議員
(自民)



安全・安心で快適に暮らせるまち
活力とにぎわいと挑戦があるまち

質 中心市街地のめざす姿について、どのように考えているのか。

答 地域の持続的な発展に向けて中心市街地の活性化をすすめていきたい。

質 中心市街地における「歩きたくなるまち」の考えについて伺う。

答 帯広市元気な中心市街地づくり促進事業などにより、中心市街地に魅力的な店舗の出店を促し、点と点を結び線や面となることで歩きたくなるまちをめざしていきたい。

質 今後のばんえい競馬について伺う。

答 健全なレジャーを提供し続けることで、将来にわたり安定的な畜産振興と地方財政改善に寄与できると考える。



佐々木 勇一 議員
(市政)



昨年の強風による農業被害状況は？
いじめ防止に万全な対策を！

質 昨年12月1日夜から2日にかけての強風による農林業への被害の状況は。

答 農業関連では住宅関係58件、牛舎・倉庫487件、ビニールハウス181件、そのほか車庫、自動車、農機具、倒木など216件の合計942件。林業関連では市有林約1450本の倒木が発生した。

質 コロナ禍の状況により、いじめや不登校の問題に影響がないか心配だが、いじめ問題に対する市の考えは。

答 いじめは決して許されるものではなく児童生徒の人格の成長に著しい影響を与えることから「いつでも、誰にでも起こりえる」と認識し、学校や家庭、教育委員会などが一丸となって取り組む。



今野 祐子 議員
(公明)



不妊治療の保険適用と、若者の消費者教育の実施について

質 今年4月から不妊治療の保険適用範囲が人工授精や体外受精、顕微授精などにも広がり、自己負担は原則3割で済む市の取組みについて伺う。

答 令和4年度からの特定不妊治療費助成も市独自の43歳以上の方を対象とする。

質 民法改正により、今年4月1日から18歳と19歳の方は新成人となるが、社会経験の乏しさから悪徳商法被害で高額負債を負い、生活破綻に陥ることを防ぐため、消費者教育が必要。市の取組みは。

答 中学、高校での各種講座の開催やリーフレットの全戸配布など、啓発内容を更新しながら消費者問題に関わる情報が市民に届くよう取組みをすすめている。



横山 明美 議員
(市政)



今こそ耕地防風林の維持・保全を！
帯広市の食料自給率は驚きの300%

質 強風時には防風林の有無により被害の差が大きいが防風林の必要性の認識は。

答 今後も防風林の持つ多面的機能が効果的に発揮されるよう、維持・保全に努め、活力と魅力ある農村づくりにつなげていくことが重要と考えている。

提言 樹種の選定にも注意を払い、防風林の整備に努めてもらいたい。

質 本市の食料自給率と今後どのように農業生産に取り組んでいくのかを伺う。

答 食料自給率は300%前後で推移。消費者が求める安全・安心で良質な農畜産物の生産に取り組み、輪作体系を基本に先端技術導入、生産基盤の整備促進などにより生産性・収益向上を図る。



杉野 智美 議員
(共産)



女性の健康を守り安心して妊娠・出産できる体制を

質 保育所や学童の待機児童の存在は女性の力を発揮する機会を奪い、社会資源の損失につながる。解消の考えは。

答 待機児童の解消は課題と認識。

提言 子どもの権利を保障するためにも待機児童対策を求める。

質 市職員の生理休暇取得状況は。

答 令和2年で延べ33日。

質 来年度の学校トイレへの生理用品設置の予算は。

答 小・中学校、南商業高校のトイレに生理用品を用意するための予算を計上。

提言 女性が健康に生涯を送るための支援、性差を考慮した職場環境整備が重要。また、生理休暇の制度周知が必要。



大林 愛慶 議員
(立憲)



コロナ感染の自宅療養者の支援を！
脱炭素社会へのステップアップを！

質 オミクロン株では、高齢者・年少者の感染拡大が続ぎ、特にひとり暮らし感染者への支援の取組みは重要。高齢者などの自宅療養者への生活支援の状況は。

答 保健所の要請に応じ、市の保健師を派遣し、支援を行ってきた。健康推進課では健康面の相談対応、感染の判断や検査にかかわる問合せへの対応、物資配送業者の紹介などを行っており、今後も保健所と連携して必要な対応をしていく。

質 環境モデル都市の取組みは順調に推移しているが、さらなるCO₂削減に向けた新たなステップを検討する考えは。

答 技術革新も必要であり、本市で利用可能な手法について検討が必要。



椎名 成 議員
(公明)



不登校支援の拡充について・認知症高齢者等SOSネットワークの改善

質 適応指導教室「ひろびろ」の施設面の今後のあり方について、見解を伺う。

答 老朽化しているトイレは、ビル所有者により来週中にも改修される。今後も施設面や環境面の改善について、所有者と十分相談しながらすすめていく。

質 個人協力者への情報送信が試行実施されるSOSネットワークの内容は。

答 認知症サポーターなどの個人協力者へのメールによる行方不明者情報の発信や顔写真などの発信情報の充実のほか、認知症当事者や家族を巻き込んだ地域の見守り体制構築、支援が必要な人の掘り起こしにつなげるための支援希望者の登録について検討している。



大竹口 武光 議員
(公明)



子育てしやすいまちづくり
乳幼児医療制度の拡充を求める

質 乳幼児医療制度の全国の傾向と、十勝管内における所得制限の現状と助成状況について伺う。

答 都道府県の補助事業では就学前までを助成対象としているが、市区町村の独自事業で中学校卒業まで上乗せしている自治体が多い傾向にある。十勝管内の助成状況については、多くの町村で所得制限を撤廃し、中学校卒業まで医療費を全額助成している他、10の町村では高校生まで全額助成していると伺っている。

質 市長判断が求められるが、市長公約として掲げる考えはないか所見を伺う。

答 まちづくり全体を見渡しながらやるべきことを考えていかなければならない。



太塚 徹 議員
(市政)



オーガニック給食推進を！学校給食をフードバレーとかちだからの価値づくりに

質 何校かモデル校をつくるなど、少しでも前進してオーガニック給食を提供することはできないのか伺う。

答 すべてのオーガニックとした給食の提供は難しいが、有機や減農薬食材を可能な限り使用した給食の提供に向け調査研究していきたい。

質 市としてまず手始めに、オーガニック給食を知ってもらう取組みを実施する考えはないのか伺う。

答 市P連役員との懇談や学校給食運営委員会、給食試食会の場合などを通して、保護者や生産者の方々に学校給食の現状を説明するとともに、声を聞く場を設けることを検討したい。



太平 亮介 議員
(共産)



加齢性難聴の補聴器助成を
聞こえのチェックリストで早期発見を

質 加齢性難聴によって会話やコミュニケーションが減り社会的に孤立すると指摘されているが、市の認識は。

答 認知症の危険因子として捉えている。難聴による認知機能の低下を防ぐために早期の補聴器使用が重要。認識は。

質 補聴器使用も有効な方法の一つ。日本の補聴器は高額で必要な人に届かない。自治体による補聴器助成は支援として有効と考えるが、市の認識は。

答 市の福祉サービスとして導入すべきか調査研究をすすめる。

提言 聞こえのバリアフリーには、聞こえにくさの早期発見が重要。聞こえに関するチェックリストを活用した取組みを。

令和3年度補正予算に対する
主な議論【議案審査特別委員会】

臨時特別給付金

○ 住民税非課税世帯などに対する10万円の臨時特別給付金は、住民税非課税世帯の他に家計急変世帯も対象であるが、要件が複雑な上、申請書を送付されてこなかったため、自分が対象になるかどうかが市民には非常に分かりづらい。対象者が漏れなく受給できるよう、様々な手法での丁寧な周知や相談対応に努めるべき。

学校における換気対策

○ 換気効果を高めるため、小・中学校の網戸の設置を積極的にすすめているが、冬は窓を開けて換気することで教室の温度が下がり過ぎることもあるため、子ども達の健康にも充分配慮すべき。

5歳から11歳のコロナワクチン接種

○ 市の事前アンケートでは、接種をするかどうか決めている人が3割を超えており、迷っている人が多いことが明らかになった。子どもや保護者がしつかり判断できるよう、効果や副反応などの情報の丁寧な周知に努めるべき。



令和4年度予算に
対する議論の概要

【審議の流れ】

令和4年3月定例会では、市長から提案された令和4年度各会計予算、令和4年度補正予算および令和3年度補正予算について、予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。委員会での主な議論や、審査の概要について掲載します。

本会議

市長から予算の提案
一般質問
予算審査特別委員会の
設置・付託

予算審査特別委員会

分野ごとの集中審査
※2 討論・採決など
可決すべきものと決定

本会議

委員長報告
委員長報告に対する質疑など
※詳しい結果は次ページに掲載
討論・採決など
可決

審査1日目

LED防犯灯

○ LED防犯灯は令和6年3月でリース期間が終わり、その後は町内会が管理をしていくことになるが、一斉に導入したため、ランプの交換時期も同じ時期となり、莫大な交換費用がかかるのではないかなど、管理への不安の声を多く聞く。今後の費用負担のあり方など具体的な整理をすすめていくべき。



ハザードマップの作成・改定

○ 洪水ハザードマップが改定されるが、ホームページのものは見づらいとの声も聞く。地域の安全のために不可欠なものであるため、見やすさの向上に努めるべき。

審査2日目

児童保育センターの整備

○ 東小学校区では来年度も待機児童が発生する見込みとのことだが、この地区では何年も待機児童が発生しているため、新たな施設の整備などを検討すべき。また、学校内にある分室には調理室などがないところもあるため、整備を行い、保育環境を向上させるべき。



がん検診

○ 若いときにがんにかかるリスクは女性の方が男性に比べて高く、その時期にがんになってしまった場合、仕事や結婚、出産など、その後の人生に大きく影響する。15歳から39歳までのAYA世代の女性は、がん検診の年齢枠もあり、早期発見が難しいこともあるため、啓発強化や検診の支援対象の拡大を行うべき。

審査3日目

トカプチ400

○ トカプチ400のナショナルサイクルルート指定を観光誘客につなげるため、十勝管内の自治体とも連携し、恵まれた自然環境や地域の特色を生かしたイベントの開催、走行環境の整備などをすすめていくべき。



飼料自給率の向上

○ 現在、家畜の飼料の多くを輸入に頼っているが、畜産経営の安定には地域で飼料を生産するなど、自給率の向上が必要である。市内の農地には限りもあるため、他の自治体との連携による農地確保なども含め、さらなる飼料自給率の向上を図るべき。

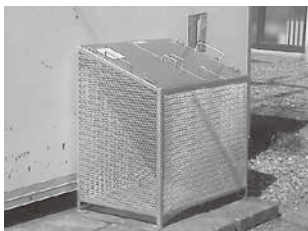
成年年齢引き下げと消費者トラブル

○ 成年年齢の引き下げにより、18歳から親の同意なしで、携帯電話やクレジットカードなどの様々な契約が可能となる。これに伴い、若年層の消費者トラブルが増えることが懸念されるため、予防に向けた適切な教育や相談対応に努めていくべき。

審査4日目

道路上の固定式ごみボックス

○ あまり知られていないが、住宅敷地内ではなく、道路上に設置されている固定式ごみボックスは違法なものである。2年前にはごみ捨て中の痛ましい死亡事故も発生した。今あるボックスの撤去は難しいが、新たなものは置かせないようにし、道路の安全確保や除雪しやすい環境づくりにつなげるべき。



固定式ごみボックス

おびひろ極上水の廃止

○ おびひろ極上水の販売は、以前は黒字が続いていたが、製造元の変更に伴い、近年は赤字が続いていることから令和4年12月で廃止することだが、赤字拡大前のもっと早い時期に、廃止の判断をすべきであった。また、廃止にあたっては、帯広の水のおいしさの新たなPR方法を検討しておくべき。



廃止されるおびひろ極上水

審査5日目

登下校時の見守り活動

○ PTAや町内会などで構成されている登下校時の見守り組織は高齢化などの影響により担い手が不足している。コミュニティ・スクールの活用などにより、担い手の裾野の拡大を図り、人員確保に一層努めるべき。

※1 付託 → 本会議での議決の前に、議案等の検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること。
※2 討論 → 採決の前に、賛成か反対か自分の意見を述べること。意見の異なる相手を自分の意見に同調させるために行う。

野草園の管理

○ 令和4年度に、緑ヶ丘公園内の野草園に生育する植物の分布状況などの調査を行うとのことであるが、調査結果を市民の十勝・帯広の豊かな自然環境の学習機会の充実につなげるとともに、植生の保全に努めるべき。



野草園に咲くニリンソウ

パークゴルフ場の開場期間

○ 令和3年度は一部のパークゴルフ場の開場期間を試行的に延長しており、利用者からも好評の声があったとのこと。パークゴルフは身近な場所で楽しめることが重要であるため、利用者などの意向も確認しながら、開場期間を延長するパークゴルフ場を増やしていくべき。

審査6日目

自主財源の確保

○ ふるさと納税による寄附額がここ数年大きく増加している。返礼品の充実やリピーター確保などにより、寄附額の拡大と安定確保に努めるべき。

組替えを求める動議・討論

○ はじめに予算の組替えを求める動議の提出委員から提案理由説明があり、その後、4名の委員が組替えを求める動議を除く全案件に賛成の立場で討論を実施。

採決

○ 全案件が、全会一致もしくは賛成多数で、委員会として原案のとおり可決すべきものとすることを決定。

本会議での討論

要旨

原案に賛成

上野 庸介議員（自民）

骨格予算であるため、今回示された事業の多くは現在行われているものの継続に過ぎない。出口戦略やアフターコロナを見据えた事業によって、コロナ禍の先にある光を導き出すことも重要であるが、市民が今、何を求めているのか、行政による支援を必要としている方々はどこにいるか、まだまだコロナ禍の真っ只中にあるという認識に立ち、必要な時に必要な施策を迅速に打ち出していくべき。市民はそれを待ち望んでいる。

原案に反対（組替え動議に賛成）

稲葉 典昭議員（共産）

コロナまん延防止措置期間に過去最大の感染拡大。学校や保育所など検体プール検査の実施と自宅療養者へのサポートセンター設置を。消費税の転嫁をやめ地域資源を活用する地域循環型経済をすすめ、雇用環境整備で若者の結婚・出産の希望をかなえること。子どもの貧困対策は喫緊の課題。中学生までの医療費無料化、国保の子どもの均等割の免除、低所得者への水道料金の減免、ゴミ処理場整備費分担金凍結などの組替動議に賛成。

原案に賛成

西本 嘉伸議員（市政）

今回、まん延防止等重点措置が解除され経済回復への模索が始まった。一方で感染者数は減少傾向とはいえ、予断を許さない。事前にシナリオが描きにくい中でどのように備えるのか。行政としても同じ仕事でも漫然と「事に仕える」だけでなく「事を仕掛ける」姿勢と勇気をもって望んで欲しい。感染症対策費不足時の財政調整基金の活用も検討とのことだが、経済と感染防止の対策を見極め、社会の閉塞感打破を求め、賛成討論とする。

原案に賛成

今野 祐子議員（公明）

令和4年度予算は骨格予算となり、少子高齢化による社会保障費の増加は避けられず、新年度の予算は民生費が全体の4割を占めるなど、義務的経費の増加は少なからず今後に影響を与えることから、財政の健全化が強く求められる。計画的な発行で市債自体は減少しているが、全体を通して今後心配されるのは、経常収支比率は高い水準で推移し、財政の弾力性が低い状況のため、より一層安定した市政を強く求め、賛成の討論とする。

原案に賛成

裨貫 秀次議員（開政）

社会保障関係経費をはじめとする義務的経費や継続事業を中心とした骨格予算となるが、コロナへの対応など、市民生活に影響が生じないよう留意し編成されたことは理解する。しかし、本年1月の除雪では、苦情件数が800件に達するなど、市民生活に多大な影響を及ぼした。除雪の予算に対する問題点は以前より指摘されてきた。先進自治体の事例などを参考に、抜本的な対策を検討し、次年度以降、万全の態勢で臨むことを要望する。

賛否の分かれた議案など

賛成・・・○ 反対・・・× ※議長は議事に対し賛否を表明できません
すべての案件については市議会ホームページで公開しています。



<令和4年 第2回 帯広市議会 定例会 採決結果一覧表>

自民…自由民主党帯広市議団 立憲…立憲民主・市民連合 市政…市政会 公明…公明党 共産…日本共産党帯広市議会議員団 開政…開政会

議員名等		議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	23	24	25	26	27	28	29
			石橋 勝美	佐々木直美	椎名 成	上野 庸介	林 佳奈子	小椋 則幸	鬼塚 英喜	大平 亮介	菊地 ルツ	大林 愛慶	清水 隆吉	今野 祐子	藤澤 昌隆	大和田三朗	木幡 裕之	石井 宏治	西本 嘉伸	杉野 智美	榎山 直義	鈴木 正孝	裨貫 秀次	大竹〇武光	大塚 徹	横山 明美	佐々木勇一	稲葉 典昭	鈴木 仁志	有城 正憲
議案名等			立憲	立憲	公明	自民	自民	自民	自民	共産	立憲	立憲	開政	公明	公明	自民	自民	自民	市政	共産	立憲	／	開政	公明	市政	市政	市政	共産	／	／
動議	令和4年度帯広市一般会計予算外4会計予算について、これを撤回の上、組替えを求める動議（議案第4号、議案第5号、議案第8号、議案第11号、議案第12号）	否決	欠席	欠席	×	×	×	×	×	○	欠席	欠席	×	×	×	×	×	×	×	○	欠席	×	×	×	×	×	×	○	×	議長
議案第4号	令和4年度帯広市一般会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第5号	令和4年度帯広市国民健康保険会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第6号	令和4年度帯広市後期高齢者医療会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第7号	令和4年度帯広市介護保険会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第8号	令和4年度帯広市中島霊園事業会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第9号	令和4年度帯広市ばんえい競馬会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第11号	令和4年度帯広市水道事業会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第12号	令和4年度帯広市下水道事業会計予算	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第20号	帯広市国民健康保険条例の一部改正について	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第34号	帯広市国民健康保険条例の一部改正について	可決	欠席	欠席	○	○	○	○	○	×	欠席	欠席	○	○	○	○	○	○	○	×	欠席	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

常任委員会等の動き 2月～4月

総務

重点調査項目

地方創生及び広域行政／効果的・効率的な行財政運営／地域防災

質問通告

〔2月〕大空地区の投票所

重点調査項目

保健予防・医療／子育て支援／高齢者・障害者福祉及び介護保険／市民協働及び男女共同参画

理事者報告

〔2月〕多様な性に関する検討状況

質問通告

〔2月〕生活保護の除雪費用

付託案件

〔陳情第1号〕選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書提出

厚生

重点調査項目

農林業及び畜産業の振興／地元企業の活性化及び観光振興／学校教育／文化及びスポーツの振興

理事者報告

〔2月〕帯広市農業産出額令和3年推計値／帯広市森林整備計画の変更／西19条北工業団地の造成（帯広市土地開発公社実施事業）

質問通告

〔2月〕農地の流動化／事業者を通じた労働者への支援制度の周知

付託案件

〔令和3年陳情第6号〕帯広市泉町とかち帯広空港敷地内アースハンモック（十勝坊主）の市文化財指定

経済文教

建設

重点調査項目

都市計画及び地域公共交通／住まい／道路・橋りょう／みどりと環境保全／上、下水道の維持管理

理事者報告

〔2月〕第3期帯広市耐震改修促進計画（案）／十勝圏複合事務組合における新中間処理施設の整備検討状況の報告

質問通告

〔2月〕大規模盛土造成地の調査結果

協議事項

会派届出事項変更届、会派結成届及び議会運営委員辞任願の受理／新たな議会構成に伴う確認事項／議会運営検討項目／議会運営委員会調査報告書の取りまとめ／令和4年第2回定例会の運営／その他

実地調査

4月4日に大空学園義務教育学校の現地調査を行いました。



4月26日にとち帯広空港敷地内のアースハンモック（十勝坊主）の現地調査を行いました。

コロナ急拡大に対する緊急要望を市長に提出

議会トピックス

以下の内容について、令和4年1月24日に市長に緊急要望を行いました。

- ワクチン接種の有効性や重要性を十分に周知し、3回目接種を円滑にすすめること。
- 北海道に対し、感染の早期発見に必要な検査体制の整備を求めること。
- 事業推進にあたっては、コロナ感染者数の急増や国・北海道の動向を見極め、市民の健康を第一に実施方法を含め慎重を期すこと。
- コロナの急拡大などにより、甚大な影響が出ることが想定される市民、事業者に対して、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や不用額の活用などにより、経済対策、生活支援策を講ずること。



要望の全文はこちら→



意見書とは、議会の意思を意見としてまとめたもので、国会や関係省庁等に提出しています

コロナ禍での消費拡大対策の強化に関する意見書

——要約——

長引くコロナ禍の影響で飲食店などでの農畜産物の利用が減っている一方、昨年は、農作物が豊作だったことから、大量の農畜産物の在庫がある状況に陥っている。

そのため、農業者が今後も安心して営農を継続できるよう、乳製品や砂糖などの農畜産物の需要喚起と消費拡大対策を強化するよう要望するもの。

意見書

提出



国会や関係行政省庁

※意見書の全文は市議会ホームページをご覧ください



議会トピックス

議会だより編集委員会の委員が変更となりました

新会派が結成されたことに伴い、議会だより編集委員会の委員構成に変更がありましたのでお知らせいたします。

【議会だより編集委員会】（令和4年2月24日～）

清水 隆吉（委員長）
佐々木直美
椎名 成
鬼塚 英喜
西本 嘉伸
大平 亮介



後列左から 鬼塚委員、西本委員、佐々木(直)委員、大平委員、椎名委員
前列 清水委員長

～令和4年6月定例会 開催予定日のお知らせ～

開催日時		会議内容
6月	13日（初日）	13時～ 本会議
	17日、20日	10時～ 代表質問
	21日～24日 ※21日は予備日	10時～ 一般質問
	27日～29日	10時～ 議案審査 特別委員会
7月	1日（最終日）	13時～ 本会議

※日程は現時点での予定であり、変更することがあります。

- 議会は傍聴できますが、マスクの着用など、感染症対策にご協力ください。（感染症の発生状況によっては、別室モニターでご覧いただく場合があります）
- 咳などの症状がある方は、傍聴をお控えください。
- 議会の様子は、生放映と録画放映を行っておりますので、市議会ホームページからご覧ください。



市議会
ホームページ



インターネット
映像配信

編集後記

東日本大震災から11年が経ち、3月11日には、多くの震災犠牲者に思いをはせ、議員一同、黙祷を捧げました。

世界の情勢は、未だ新型コロナウイルスの収束が見えない中、ロシアのウクライナ侵攻により、多くの戦争犠牲者も発生しております。改めて平穏な日常のありがたさを認識し、災害に強いまちづくり、医療体制の充実、平和都市としての取組みの推進に、議員一丸となって取り組むことを心に刻みました。

（編集委員 佐々木直美）